

# 令和3年度事業報告

## 1 概況

### (1) シルバー人材センターを取り巻く環境

我が国の65歳以上の高齢者人口は、令和3年9月15日現在、3,640万人で、総人口に占める高齢者人口の割合は、総人口の減少と相まって、29.1%と過去最高の数値となっています。国連のデータによると、この数値は、第2位のイタリアの23.6%を5ポイント以上も上回っており、極めて高いものとなっています。我が国の高齢化率は、今後も上昇を続け、第2次ベビーブーム期(1971年～1974年)に生まれた世代が65歳以上に達する2040年には、35.3%と、総人口の3人に1人以上が高齢者になると見込まれています。このことから、我が国においては、高齢者の雇用の更なる確保に加え、就労環境のより一層の整備・充実を図っていくことが、必要不可欠であると言われてしています。

こうした中、令和元年12月より、世界的に大流行している新型コロナウイルス感染症は、昨年中頃までには世界各国でワクチン接種が進み、防疫と経済活動の両立が図られた結果、世界経済は、徐々に動きをはじめ、回復の兆しが見られましたが、昨年11月頃から新型コロナウイルスの新たな変異株であるオミクロン株による感染症が世界的に蔓延し、再び、世界各国において、移動制限等が強化・実施されることとなり、世界経済は、停滞を余儀なくされる状況となっています。

国内経済においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済活動が大幅な制限を強いられたことにより、本年2月期の有効求人倍率は1.16と、コロナ禍前の平成30年2月期の1.61から急激に下がっているものの、令和3年度の完全失業率については、前年の2.8%から0.2ポイントと減少し、2.6%となり、徐々に景気回復の兆しが見られましたが、コロナ禍での供給制限や経済の再開に伴う需要増加による原材料価格の上昇に加え、昨今の脱炭素化の加速による化石燃料への投資の低迷等による世界的な原油・天然ガス価格高騰、それに伴う急激な円安の進行が、ガソリン価格や食品を中心とする輸入材価格の上昇をもたらし、コストプッシュインフレの局面と国民負担率の上昇から、企業活動の停滞、消費行動の低迷により、今後も景気の下振れが継続し、回復が大幅に後ずれするものと見られています。また、本年2月に勃発したロシアによるウクライナへの侵攻は、これに拍車を掛けることとなっており、我が国の経済のみならず、世界経済と秩序に重大な混乱をもたらしています。

このように各種問題に直面する中、とりわけ新型コロナウイルス感染症の流行は、引き続きシルバー人材センターの事業運営面において大きな影響を与えています。具体的には、感染症の罹患を懸念し新規入会希望者が外出を自粛するなど、全国的に新規入会者が増加せず、会員数が減少傾向にあること、事業実績の回復の兆しは見られるものの、飲食業界をはじめとする一部産業からの受注の減少や、家庭からの受注のうち特に家事援助

サービスの受注の減少等、事業実績の停滞が依然見られています。これら影響は、コロナ禍終息の兆しが見られない限り今後も一定程度続くことが予測されます。

当センターの令和3年度実績については、契約件数については14,687件で前年度対比約1.0%増、契約金額については約14億450万円で前年度対比約4.16%増となり、昨年度に比して回復傾向にあります。新型コロナウイルス感染症流行前の令和元年度実績を取り戻すには至っていません。

一方、シルバー人材センター等労働者派遣事業については好調で、実績が昨年度より飛躍的に上昇しています。受注が拡大した背景には、板橋区内の認可私立保育園園長会での事業PR活動を行ったことによる受注件数の増加や、積極的な広報活動による事業の認知度の上昇及び板橋区産業振興公社との連携による積極的な就業開拓が功を奏し、契約件数は令和2年度の51件に対して令和3年度は90件と約77%増、契約金額については前年度対比約72%増の、約3,850万円と大幅に増加しました。

また、課題とされている新規会員の確保については、当センターにおいては多様な区民のライフスタイルを考慮し土日祝日の入会説明会を開催したことや、区界や人口が集中している地域における出張入会説明会の開催などを行った結果、前年度対比119人増となりました。

次に、センターの財務状況についてですが、令和3年度はコロナ禍による先行き不透明感が強く非常に厳しい状況にあったことに加え、令和4年度以降の区営自転車駐車場契約内容の変更による受注実績の大幅減少を見据え、これまで以上に強固な財務基盤を確立すべく、収入・支出の見直しを図り、あらゆる諸経費等の節減に努めたことから、当期の正味財産増減額は1,100万円余の増加となりました。

以上が令和3年度のシルバー人材センター事業における概況となります。シルバー人材センター事業運営は長引くコロナ禍により、今なお非常に厳しい状況に直面しています。しかしながら、こうした中であっても、当センターにおいては今後も引き続き会員第一の視点を崩さず、また、会員の就業率向上に寄与すべく新たな就業機会の開拓に向けて、より一層注力し、安定したセンター運営を目指していきたくと考えています。その上で、ポストコロナ・アフターコロナを見据えた事業運営を模索し、常に時代の趨勢を見極めていくことに心がけていく所存です。

## (2) 安全就業の状況

令和3年度の東京都内全シルバー人材センター統計においては、傷害事故は562件で前年度より11件増加しています。このうち3件は死亡につながる重篤事故でした。一方、賠償責任事故は192件と前年度より17件の増加でした。

当センターにおいては、引き続き安全就業巡回やそれに付随する研修会、委員会・連絡会活動、広報誌を活用した会員への啓発活動などを積極的に行った結果、傷害事故発生件数は20件と前年度より10件減少しました。しかしながら、賠償事故については8件と前年度より3件の増となりました。

シルバー人材センター事業において安全就業対策は、何よりも優先されるべきものです。そのため、今後も事故防止について積極的に取組を行い、事故を減らしていくことを使命とし、会員への啓発活動についてもより積極的に行い全ての事故件数減少に努めてまいります。

## 2 会員の状況

### 会員の増減と就業率

令和4年3月31日現在、会員数3,090人、平均年齢は74.5歳、最高齢は95歳です。60歳以上の板橋区民に対する会員の割合は1.9%となっています。

令和3年度就業実人員は2,348人で前年度対比46人の増、会員数に対する就業率は76.0%で同1.5ポイントの減、就業者平均年齢75.5歳、就業者最高齢は95歳です。会員数については、積極的なPR活動を行い、説明会の出張開催や土日開催等の工夫をし、入会者は前年度より124人の増、会員数は前年度対比119人の増となりました。また、就業実人員は46人増加しましたが、就業率は、分母である会員数の増加により減少しました。

退会者367人の退会理由については、病気76人、会費未納97人、他での就職17人、転居35人、死亡28人、その他加齢等114人となっています。

令和4年3月31日現在

区 分	男 性 〔人〕	女 性 〔人〕	合 計 〔人〕	参考 板橋 区民	就業実人員内訳			
					就業 実人員 〔人〕	年 齢 階級別 就業率 〔%〕	合計に 対する 構成比 〔%〕	
年 齢 階 級 別 会 員 数	60歳～64歳	41 (38)	51 (36)	92 (74)	29,625 (28,911)	45 (40)	48.9 (54.1)	1.9 (1.7)
	65歳～69歳	267 (258)	193 (192)	460 (450)	27,629 (28,825)	299 (293)	65.0 (65.1)	12.7 (12.7)
	70歳～74歳	712 (742)	431 (458)	1,143 (1,200)	34,537 (35,082)	858 (914)	75.1 (76.1)	36.5 (39.7)
	75歳～79歳	617 (578)	328 (286)	945 (864)	25,333 (25,531)	769 (728)	81.4 (84.3)	32.8 (31.6)
	80歳以上	303 (263)	147 (120)	450 (383)	44,354 (42,915)	377 (327)	83.8 (85.4)	16.1 (14.2)
合 計	1,940 (1,879)	1,150 (1,092)	3,090 (2,971)	161,478 (161,264)	2,348 (2,302)	76.0 (77.5)	100 (100)	
平均年齢〔歳〕	74.9 (74.6)	74.0 (73.8)	74.5 (74.3)		75.5 (75.3)			
入 会 者〔人〕	282 (214)	204 (148)	486 (362)	入会説明会参加者	629	(412)		
退 会 者〔人〕	221 (210)	146 (113)	367 (323)					
※退会理由：病気76人 会費未納97人 就職17人 転居35人 死亡28人 その他加齢等114人								

※（ ）内は前年度実績

※〔参考〕板橋区民は令和4年4月1日住民基本台帳による。

### 3 組織運営の状況

会員参画による組織運営の活動状況は次のとおりです。

#### (1) 総会・理事会の開催

- ①定時総会 文化会館 大ホール  
第11回 令和3年6月22日 会員数3,056名  
(出席者63名 委任状1,735名 議決権行使683名)
- ②理事会の開催 13回  
(補正予算案他を審議)
- ③監査の実施  
令和3年5月13日 公認会計士による監査  
令和3年5月17日 監事による監査

#### (2) その他の機関・組織の活動状況

- ①安全管理委員会 3回
- ②広報委員会 広報誌「生きいき」の作成検討 5回
- ③地区リーダー会議 5回
- ④地区懇談会 延245人出席 18回 (1回)
- ⑤有料自転車駐車場リーダー会議 1回 (1回)
- ⑥いこいの家連絡会 6回
- ⑦その他グループ会議等 植木職、除草職、表具職、シニアエアロビクス  
※( )は、新型コロナウイルス感染症の影響による開催中止。

### 4 就業等の機会確保及び提供

就業等の機会確保及び提供に関する状況は次のとおりです。

#### (1) 事業収入状況等

事業収入は1,404,471,138円で前年度に比べ、56,134,517円の増となりました。

そのうち、公共の事業収入は513,850,787円で前年度対比59,778,940円・13.2%の増、企業等は727,589,488円で前年度対比13,397,839円・1.8%の減、個人は163,030,863円で前年度対比9,753,416円・6.4%の増となりました。公民比率ですが、公：民＝36.6：63.4となっています。

なお、新規依頼に際しては、雇用とみなされるおそれのあるものは、シルバー人材センター等労働者派遣事業で幅広く対応し、安全に就業できるものであれば、業種、規模を問わず、可能な限り受注しました。

令和3年度事業収入等の内訳

	公 共	企 業 等	個 人	合 計
事業収入 (円)	513,850,787 (454,071,847)	727,589,488 (740,987,327)	163,030,863 (153,277,447)	1,404,471,138 (1,348,336,621)
配分金収入 (円)	481,152,442 (424,889,539)	667,572,210 (679,379,460)	129,362,973 (120,441,784)	1,278,087,625 (1,224,710,783)
材料費等収入 (円)	1,807,517 (1,898,918)	252,385 (403,408)	15,162,197 (15,225,294)	17,222,099 (17,527,620)
事務費収入 (円)	30,890,828 (27,283,390)	59,764,893 (61,204,459)	18,505,693 (17,610,369)	109,161,414 (106,098,218)
契約件数 (件)	1,780 (1,764)	5,623 (5,782)	7,284 (6,997)	14,687 (14,543)
延日人員 (人)	86,102 (78,292)	156,899 (164,787)	31,635 (28,854)	274,636 (271,933)

※ 収入・件数には独自事業も含んでいます。※ ( ) 内は前年度実績

(2) 独自事業の状況

独自事業の実績については、次のとおりです。

自転車リサイクル事業は、販売台数が前年度より24台の増となり、販売額は16.3%の増となりました。

ソーイング事業は、区民まつり・農業まつり等のイベント開催中止の影響を受けて販売機会が減少し、事業収入は前年度対比23.1%の減となりました。

シニアエアロビクス教室事業は、感染症対策を講じて教室を再開し、教室回数は86回の増、事業収入は104.7%の増となりました。

木工クラブ事業は、ソーイング事業と同様に販売機会が減少し、事業収入は32.0%の減となりました。

①自転車リサイクル事業

就業会員3人 年4回販売 254台 1,875,360円

(参考：令和2年度 年3回販売 230台 1,613,080円)

②ソーイング事業

就業会員17人

小物作り、お直し、オーダー等点数 1,187点 2,959,453円

(参考：令和2年度 1,327点 3,846,328円)

③シニアエアロビクス教室事業 (ゴム紐体操教室含む)

インストラクター就業会員18人 教室182回 延2,606人参加 747,956円

(参考：令和2年度 教室96回 延1,553人参加 365,464円)

④木工クラブ事業

就業会員13人 木のおもちゃを製作、販売 191,125円

(参考：令和2年度 281,175円)

### (3) 日常生活支援総合事業

専任のコーディネーター2名を配置し、事業PR、会員研修並びに就業支援を実施。

#### ①事業活動報告（開拓・PR）

- ・区内おとしより相談センター（地域包括支援センター）を適宜訪問
- ・区内全事業所連絡会に出席し事業PR
- ・区内地域包括支援センター職員に就業会員向け研修講師を依頼し、センター及び会員理解促進を図った

#### ②就業会員向け研修（事業従事のための必須研修）

延3回実施 参加人員41名

※研修受講会員には研修修了後 修了証を授与

### (4) シルバー人材センター等労働者派遣事業

令和3年度も私立保育園からの「保育補助、園内清掃、調理補助」の依頼が大幅に増加したことに加え事務補助職などが少しずつ増えていくなど、より幅広い職種で就業を実施した結果、契約件数・延日人員・契約金額は大幅に増加しました。

契約件数90件 延日人員7,653人 契約金額38,481,851円

(参考：2年度 契約件数51件 延日人員4,460人 契約金額22,416,205円)

### (5) 社会貢献・ボランティア活動状況

ボランティア活動の実績は、次のとおりです。

- ①「いたばし子ども見守り隊」 年間活動延人員538人
- ②「東京マラソン2021」観客誘導・整理のボランティア活動要請はありませんでした。

## 5 就業機会の適切なコーディネートと公平化

就業機会の適切なコーディネートと公平化に関する取組は次のとおりです。

### (1) 就業相談の実施

会員の就業機会を的確かつ効率的に拡大するため、特に就業希望者登録説明・選考会を引き続き実施しました。

- ①事務局内において来所者に対する就業相談 常時
- ②個別就業相談会 5回（5, 8, 10, 12, 2月） 相談者 延13人
- ③就業希望者登録説明・選考会

（有料自転車駐車場・学童擁護・施設管理・自転車放置防止業務・事務派遣業務）

延16回（8, 10, 12, 2月）参加者 延214人

（参考：令和2年度 参加者 延167人）

## (2) 就業機会の公平化と長期就業を是正するための就業期間制限

### ①対象職種

地域センター 情報処理センター ものづくり研究開発連携センター  
男女平等推進センター 児童館 小学校来校者受付 いこいの家  
有料自転車駐車場 自転車保管所 自転車放置防止業務 地域集会室

※状況を鑑み実施延期・中止の職種あり

### ②実施状況

定年	11人
職種グループ内就業期間満了	24人
同一就業場所就業期間満了（施設間異動）	11人

## 6 会員の安全対策

前年度に引き続き、令和3年度においても就業中や行き帰りの事故が多くなっています。このため「安全就業手帳」配付や転倒予防に力を入れました。また、全会員に対して感染症対策グッズを送付しました。

- |   |                 |
|---|-----------------|
| ①安全管理委員会                                | 年3回             |
| ②「安全就業手帳」配付                             | 2,500部          |
| ③入会時に「安全10カ条」パンフレット配付                   |                 |
| ④ミニ転倒予防教室                               | 地区懇談会18地区221人参加 |
| ⑤普通救命講習                                 | 開催中止            |
| ⑥広報誌「生きいき」に毎号「安全通信」を掲載                  | 年5回             |
| ⑦安全就業用被服の貸与                             |                 |
| ⑧熱中症対策グッズの配付                            |                 |
| ⑨感染症対策グッズの送付<br>(マスク、除菌アルコールスプレー、紙せっけん) |                 |
| ⑩脚立を点検 新しく三脚10本、梯子5本を購入                 |                 |
| ⑪身体機能測定会                                | 開催中止            |
| ⑫安全管理委員・支援員の安全就業巡回（夏季・冬季）               | 14人79カ所         |

## 7 会員に対する研修

会員の資質の向上を図るため、以下の研修を実施しました。

- |                                    |           |          |
|------------------------------------|-----------|----------|
| ①入会説明会・接遇研修                        | 4～3月      | 629人参加   |
| ②接遇研修                              | 12月 3回    | 91人参加    |
| ③植木剪定研修                            | 1～3月      | 延181人参加  |
| ④植木剪定個別指導研修                        | 4～3月      | 延463人参加  |
| ⑤第3ブロック役員研修<br>「シルバー派遣事業における課題と展望」 | 動画配信により実施 | 3月       |
| ⑥第3ブロック会員研修「保育支援サービス(保育補助)」        | 会場 板橋区    | 7月 23人参加 |

⑦第3ブロック安全就業実践研修「一人KY活動および健康管理の徹底について」

会場 練馬区 10月 7人参加

## 8 広報・普及啓発活動

センター事業の広報・普及啓発活動は次のとおりです。

### (1) 広告掲載等によるPR・その他

- |   |      |
|---|------|
| ①「広報いたばし」センター事業（エアロビクス教室他）参加者等募集記事            | 3回   |
| ②「広報いたばし」入会説明会募集記事                            | 4回   |
| ③板橋区施設等にパンフレットを配布                             |      |
| ④板橋区民まつり・農業まつり他、地域まつり                         | 開催中止 |
| ⑤区庁舎イベントスペース（12月）における展示販売                     | 3回   |
| ⑥町会掲示板広告スペースへセンター広告を掲載                        | 通年   |
| ⑦町会連合会等関係団体会報や板橋区が発行する情報誌、いたばし暮らしガイド<br>に広告掲載 | 延5回  |
| ⑧大山駅及び板橋区役所前駅構内への広告掲示                         | 通年   |
| ⑨バスラッピングを活用した広告活動                             | 通年   |
| ⑩消火栓標識広告スペースを活用した広告活動                         | 通年   |
| ⑪広報誌「生きいき」の発刊                                 | 5回   |
| ア 第199号4月25日号 イ 第200号7月25日号 ウ 第201号9月25日号     |      |
| エ 第202号11月25日号 オ 第203号1月25日号                  |      |

### (2) 情報公開

ホームページを活用し、公益社団法人として公開すべき情報の他、就業情報、活動情報等を公開しました。

## 9 調査研究

センターを利用している民間企業（継続）に対し、会員が行った仕事の完成度および満足度についてアンケート調査を実施しました。

- ①調査方法 令和4年2月1日から2月20日まで、郵送によるアンケート方式（無記名）。  
289件中183件の回答がありました。

### ②調査結果

結果の詳細は広報誌「生きいき」205号（令和4年7月25日発刊）に掲載予定



## 10 その他の事業運営の状況

事業運営上のリスクに備えて加入している保険は主に次のとおりです。

### ①シルバー人材センター総合保険(継続加入)

ア 保険料 8,572,700円

(保険料内訳：傷害7,400,280円 賠償1,172,420円)

イ 保険適用 (保険金支払いが確定した件数及び金額)

傷害事故 22件 1,942,500円 内令和2年度事故分 7件 973,500円

賠償事故 4件 397,900円 内令和2年度事故分 なし

### ②役員賠償責任保険(継続加入)

ア 保険料 140,000円 填補限度額5千万円

イ 3年度中の保険適用なし

### ③サイバー保険(継続加入)(旧名：個人情報取扱事業者保険)

ア 保険料 138,180円 賠償限度額1億円 諸経費費用限度額3千万円

イ 3年度中の保険適用なし

## 11 その他

事務局の状況

令和4年3月31日現在 事務局長1名 その他の常勤職員8名 一般業務職員2名  
その他の嘱託職員18名 臨時職員2名となっております。

# 事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書の「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

公益社団法人板橋区シルバー人材センター 会長 吉田 光夫